



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 ゼット株式会社

コード番号 8135 URL <http://zett.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺裕之

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 山下龍美

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	9,865	△0.4	76	△20.9	99	△8.4	77	△23.1
27年3月期第1四半期	9,903	△2.5	96	214.0	108	225.2	100	308.6

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 272百万円 (83.9%) 27年3月期第1四半期 148百万円 (96.7%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	3.95	—	—	—
27年3月期第1四半期	5.14	—	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
28年3月期第1四半期	21,947	8,561	8,561	39.0	437.29	425.37	425.37	
27年3月期	19,777	8,328	8,328	42.1	425.37	425.37	425.37	

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 8,561百万円 27年3月期 8,328百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
27年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00	2.00
28年3月期	—	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,300	△0.5	60	93.5	80	35.6	65	△89.5	3.32
通期	38,600	1.9	130	—	170	—	130	△21.7	6.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	20,102,000 株	27年3月期	20,102,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	523,216 株	27年3月期	522,560 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	19,579,221 株	27年3月期1Q	19,585,587 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融緩和を背景に円安・株高の傾向が続き、企業収益の改善や雇用・所得環境に好転が見られるなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方、円安による物価上昇などにより、個人消費の回復スピードは鈍く、海外景気の下振れリスクもあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、①グループのスリム化と中核事業への集中、②自社品とカテゴリー別に独自の価値を創造、③低コスト経営（コスト競争力）の追求、④経営基盤（人材・IT・物流）の強化を基本方針とし、業績向上に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は9,865百万円（前年同四半期比0.4%減）、営業利益は76百万円（前年同四半期比20.9%減）、経常利益は99百万円（前年同四半期比8.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は77百万円（前年同四半期比23.1%減）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

## (卸売部門)

卸売部門は、昨年の消費増税後の落ち込みの反動がなくなり、回復する予測でありましたが、全般的に個人消費の回復スピードが鈍く、西日本を中心とした大雨による天候不順も悪影響を及ぼし、前年同四半期比微増で推移いたしました。「外商・スクール」及び「アスレ」マーケットは、野球・ソフト用品が低調に推移し、サッカー用品は、前期のサッカー・ワールドカップの実績をカバー出来ず苦戦を強いられました。一方、テニス・バドミントン用品、バスケットボール用品、卓球用品、競技シューズ等は、堅調に推移いたしました。また、期初にサッカー&フットサル、バスケットボール、ベースボールなど各競技のチームウェアを、スマートフォンやタブレット端末、パソコンから簡単にデザインシミュレーション出来るWEBサイト「チームdeドットコム」を立ち上げ、サービス強化を図りました。「ライフスタイル」マーケットは、アウトドア用品、フットウェアが堅調に推移いたしました。アパレルの落ち込みが大きく、苦戦を強いられました。「ボディケア」マーケットは、主力ブランドの競争力低下により、苦戦を強いられました。

この結果、売上高は9,237百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。

## (製造部門)

製造部門は、ベースボールにおいて、原価率の低減、商品企画、開発力の強化並びに品質向上に努め、野球・ソフト用品は、「プロステイタス」や「ネオステイタス」のハイグレードシリーズは引き続き高い評価を得ました。バスケットボール用品は、「コンバース」のバスケットボールウェアは、引き続き高いユーザー支持があったものの、「コンバース」のバッグは、契約更改にあたり流通販路の変更による影響を受け減収となり、苦戦を強いられました。一方、健康関連用品は、アスリートのための加圧トレーニングとして「カーツ」ウェアが、新しくサッカーチームに採用されるなど、堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は105百万円（前年同四半期比25.7%減）となりました。

## (小売部門)

小売部門は、個人消費は消費税率引き上げ後の低迷が続くものの、前期は駆け込み需要の反動の影響が大きかったこともあり、アウトドア用品、アパレル・フットウェアが回復傾向となりました。また、平成27年2月に㈱ロッジ京都店内においてオープンした、日本で初のカスタムオーダーが出来る米国のメッセンジャーバックブランド「TIMBUK2」のショップインショップが軌道に乗り、㈱すぼーつらんどコジマにおいては、沼津店、富士店を7月末で閉店するにあたり、閉店セールを行ったことにより、順調に推移いたしました。

この結果、売上高は196百万円（前年同四半期比32.4%増）となりました。

## (その他部門)

スポーツ施設運営部門は、前期からの販売促進活動の強化により会員数が着実に増加するなど堅調に推移いたしました。物流部門において、外部受託業務における取扱いの一部変更があったことにより、大幅な減収となり苦戦を強いられました。

この結果、売上高は325百万円（前年同四半期比18.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,169百万円増加し、21,947百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,218百万円、商品及び製品495百万円増加したこと等によるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ1,936百万円増加し、13,385百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,986百万円増加したこと等によるものであります。純資産については、前連結会計年度末に比べ233百万円増加し、8,561百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が198百万円、利益剰余金が38百万円増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月14日の「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,657	3,876
受取手形及び売掛金	8,701	8,765
商品及び製品	3,420	3,915
仕掛品	52	51
原材料及び貯蔵品	126	135
その他	148	207
貸倒引当金	△41	△43
流動資産合計	15,064	16,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,815	2,816
減価償却累計額	△1,965	△1,978
建物及び構築物（純額）	849	837
土地	1,228	1,228
その他	1,215	1,208
減価償却累計額	△992	△947
その他（純額）	222	261
有形固定資産合計	2,299	2,327
無形固定資産		
その他	64	62
無形固定資産合計	64	62
投資その他の資産		
投資有価証券	1,653	1,965
長期貸付金	39	38
敷金	256	256
その他	461	451
貸倒引当金	△63	△63
投資その他の資産合計	2,348	2,648
固定資産合計	4,712	5,038
資産合計	19,777	21,947

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,733	9,719
短期借入金	402	386
未払法人税等	45	25
未払消費税等	138	57
賞与引当金	225	107
その他	518	665
流動負債合計	9,064	10,962
固定負債		
長期借入金	445	361
繰延税金負債	387	499
退職給付に係る負債	370	374
長期未払金	277	276
その他	904	910
固定負債合計	2,384	2,423
負債合計	11,449	13,385
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	3,549	3,587
自己株式	△73	△73
株主資本合計	7,450	7,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	875	1,074
繰延ヘッジ損益	4	△0
為替換算調整勘定	27	27
退職給付に係る調整累計額	△29	△28
その他の包括利益累計額合計	878	1,073
非支配株主持分	—	—
純資産合計	8,328	8,561
負債純資産合計	19,777	21,947

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	9,903	9,865
売上原価	7,935	7,964
売上総利益	1,968	1,901
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	146	118
運賃及び荷造費	184	188
賃借料	67	60
役員報酬及び給料手当	683	631
貸倒引当金繰入額	△5	1
賞与引当金繰入額	97	100
減価償却費	36	37
その他	662	685
販売費及び一般管理費合計	1,871	1,824
営業利益	96	76
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	13
受取賃貸料	4	4
業務受託料	4	9
その他	7	7
営業外収益合計	27	35
営業外費用		
支払利息	3	2
売上割引	9	10
その他	1	0
営業外費用合計	15	12
経常利益	108	99
税金等調整前四半期純利益	108	99
法人税、住民税及び事業税	21	22
法人税等調整額	△13	0
法人税等合計	8	22
四半期純利益	100	77
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	100	77



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	100	77
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49	198
繰延ヘッジ損益	0	△4
為替換算調整勘定	△2	0
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	47	194
四半期包括利益	148	272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148	272
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。